

1. 西院中学校 教育目標及び子ども像・教職員像・学校像

教育目標

次のことに粘り強く取り組む子どもを育てる。

- (1) いのちを大切にすることも
- (2) 正しく判断し行動できる子ども
- (3) 学習に意欲を燃やす子ども

目指す子ども像

「心が豊かな『幸せ』な子ども」

- ・西院中学校で学べて良かったと言える生徒（体験と学習の成就感）
- ・社会で有用とされ、かわいがられる人間（挨拶、感謝、素直さ、自己有用感）
- ・「自ら」「意欲的に」「誠実に」生きる生徒

目指す教職員像

- ・「いのちと人権」を大切にする教師（人権環境づくりと一人ひとりを徹底的に大切にする教育）
- ・授業力とクリエイティブな視点をもつ教師
- ・愛と熱意があり、行動する教師
- ・教育における自己有用感を感じられる教師

目指す学校像

- ・取組や生徒像が地域と共有出来る学校（開かれた学校、地域との協働事業）
- ・地域コミュニティーの教育力を生かし、「西院の子は西院で育てる」という気運を発展させる学校
- ・地域とともに「いのち」を守り輝かせ、文化・教育、災害発生時の拠点となる学校
- ・18年来続けてきた地域との震災防災の取組や、平成8年からの地域に特定した職場体験学習、地域行事への生徒の参画など、互いに顔が見え生徒の姿から見取れる信頼により地域の核となる学校

2 西院中学校経営方針

- 1 「西院小中一貫教育推進校」として、言語活動の充実や9年間を見通した学びの系統性による学力の伸長を図り、堀川高校との連携事業で定着してきたポスター発表の発展などさらなる具体的な取組の深化を図る。
- 2 保護者、地域の教育への参画が日常的に行われるようになった中、地域とともに歩む学校「西院小中合同学校運営協議会」の組織の活用と取組の一層の充実を図る。
- 3 視野の広い国際感覚と人権意識を持つ風土づくりを目指し、日韓交流を切り口に韓国姉妹校からの修学旅行団受け入れを全校・地域を挙げて成功させ、行動する地域啓発により、自国の伝統や文化を正しく理解し外国人の人にも正しく伝え合う活動により、外国語の活用とコミュニケーション能力の大切さを実感して高める取組を推進するとともに、世界に通用する人材の育成を図る。
- 4 「心の故郷 西院中～自信と誇りにあふれる学校づくり～」を不易のテーマとし、「いのちをみつめあう生徒の育成～人と自然とのふれあいを通して～」を目指す道徳教育を全ての教育活動の基盤として、教職員と生徒とで自信と誇りを持てる学校づくりに取り組む。
- 5 学習や生活・行事に地道な努力と果敢な気概を持って挑み、すべてのことが社会的・職業的自立につながるキャリア教育の視点に立ち、取組がやりがいと成果と喜びのもと、「自己有用感」の好循環により活性化されている気運を継続発展させていく。